

はぐくむ光のびる若芽

(170)

芝崎 佐藤 静代

我が家は元気な母と、

子供思いの夫、どちらかと言つと控え目な小五の光一、家族思いの小四の麻美と私の5人家族です。毎朝主人は、遠距離通勤のため6時15分に出動します。お父さんの麻美は、毎朝6時に起き、仕事に出かける前の小さな会話をしてから「いってらっしゃい。」と車が見えなくなるまで雨の日もかかさず送り出し、それから自分の支度にとりかかります。

光一は、陸上練習にはりきり朝早く登校しています。麻美とは年子のため、親の都合かもしれないが、なんでも男女の区別もなく同じように育てたせいか、どちらかと言つとおとなしく控え目な性格でした。その性格は今も同じです。小さい頃から扁桃腺でよく熱をだしていましたが、小三から少年野球に入り、体

を動かし鍛える事によって丈夫になり、男らしく意欲的に頑張っています。

母に聞いて言えば、今現在すぐそばに住んでいる母親を看護していますが、ストレスをためないよう自分自身でコントロールしているようです。そして、子供達が帰って来る頃には家において、大きな声で「おか

子供の良き話し相手に



えり」と言ってくれます。子供達もその大きな声を聞くと、ホッとします。いつまでも大きな声の母でいてほしいと、私も思っています。

夜8時30分、麻美がソフソフはじめた頃お父さんが帰り、クタクションをならすと車庫まで迎えに行き

ます。仲良く玄関に入り、お父さんが一段落した所で、日課となっている父と子供とのスキンシップの時間です。「歯をみがいたか。」と言つて子供達2人がお父さんのそばへ来て歯を見せてチェックしてもらいます。ほんのささやかな接触ですが、子供達2人安心して床へつきます。

家族5人の一日の生活

をまとめてみました。家族で一番大切なのは、健康、愛情、思いやりだと思います。肩肘はらず、今のままの生活を大切に、もっとと家族で話し合える子供の良き話し相手になれるよう、ともに成長していきたいと思っています。

みんなの力できれいな川

◆栗山川周辺環境ボランティア◆

栗山川は、鮭の回帰する川として知られ、自然が多く残る住民憩いの場です。また、千葉県内の飲料水や農工業用水としても利用され、地域の人々の生活に欠くことのできない川となっています。今年も5月14日、今回で4回目になる栗山川周辺環境ボランティアが、147人のみなさんにより行われました。

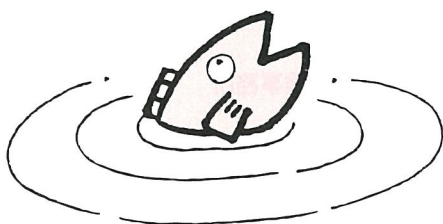
作業は約4時間、篠本堰から木戸地先(延長11km、延面積44000㎡)までの草刈りと、500kgのごみが回収されました。

このボランティアは、今年の秋も予定されています。

これからもふるさとの川、『栗山川』を皆さんの手で守っていきましょう。



各地区に分かれての草刈り(篠本堰付近)



ふるさとの川を
たいせつに



ごみ拾い、草刈りお疲れさまです(木戸地先)